

## 子丑天中殺の人の人間関係

### ■子丑天中殺同士の人間関係

子丑天中殺にとって、同じ子丑天中殺というのは、北方欠落同士という形になります。

つまり北に位置するものが欠ける度合いが強くなるので、目上や上司の助けが特に少ないという関係になるのです。しかし、同じ天中殺同士は、よく言う "似た者同士" ということで、お互いの良いところも悪いところも、手に取るように解り合える、気心の知れる相手になるのです。ですから、親子、きょうだい、夫婦、恋人、目上、目下……どういう関係にあっても、非常に気持ちが楽な相手になるのは確かな事です。

その代わり、寅卯天中殺や辰巳天中殺の相手のように特別な発展生が生れたり、午未天中殺の星のように、子丑天中殺の不運をパッと止めてくれたり……という劇的な働きもありません。損も得もなく、ただ力ある者が力のない方を助ける……というだけの、なんとなく相性が良い相手ということになります。

世の中のものの見方には、プラス面を数えて行く見方と、反対に、マイナス面の少ないのを数えていく見方とがありますが、同じ天中殺同士の相性というのは、プラス面もマイナス面もあまりない、弊害のもっとも少ない組み合わせと言っていいでしょう。ところが、このように良い相性にも関わらず、子丑天中殺同士というのは、若い時代とか学年時代などには案外惹き合わないです。

若い時代というのは、好奇心も強く、自分とは違った価値を見つけたいと思っていますから、どうしても他人目がいってしまうのです。

第一、地味で、力が出て来るのが遅い子丑天中殺の人は、若い時代には、それほど目立つ存在ではないからなのです。しかし、ある程度の年齢になってきますと、だいたい世の中のことも人間のことも分って来ることになるのです。そこで、自分とは全く異質のものに気をつかったり、合わせたりするより、気心の知れたヨコ関係も良いな……と思うようになるわけです。ですから、見合いなどで、同じ子丑天中殺の相手に合うと、会った途端に「あっ、この人で良い」という気持ちになってしまふことが、けっこう多いのです。

恋愛でも、同じ子丑天中殺の星に惹かれることは少なくありません。

互いに惹かれあって波瀾の少ない関係ですから夫婦や恋人には良いのです。しかし、同じ恋人でも浮気や不倫の相手が同じ子丑天中殺ですとちょっと困りますね……。つまり、浮気や不倫でも波瀾が少ない形の相性ですから、別れにくくなる形での相性になる……とでも申しましょうか、そういう関係が長く続いてしまいがちなのです。いわば、一種の "くされ縁" になってしまいがちなのです。

夫婦の場合は親からの援助は受けにくくなる事情が生れてきます。初代運の天中殺同士の二人が結びつくわけですから、はじめは苦労が続く傾向に立たれます。それに同じ運を辿るわけですから、どうしても運が偏りがちで、成功も大きいけれど、失敗も大きい……ということにもなりかねません。

また、互いに気が合い過ぎて、二人が良ければ世間も常識もないといった、型破りの夫婦になって行く傾向もあるのが子丑天中殺同士の夫婦相性です。

上役と部下、或は同僚という関係でも、ツーと言えばカーという相性ですから、非常にコミュニケーションがよく、互いに楽に仕事の出来る相手になります。[\(人気タレントのタモリさんと明石家さんまさんの二人が、ともに子丑天中殺同士です。\)](#)

しかし、上役と部下が同じ子丑天中殺ですと、あまりにも気が合い過ぎて子丑の部下は、子丑の上役に便利に使われっぱなし……という面が出て来ます。

また、あまりにも楽な相手だけに、子丑の上役は子丑の部下の存在を意識しないというか、特別の出世とか昇進のチャンスを与えてくれる子丑の上役ではありません。

